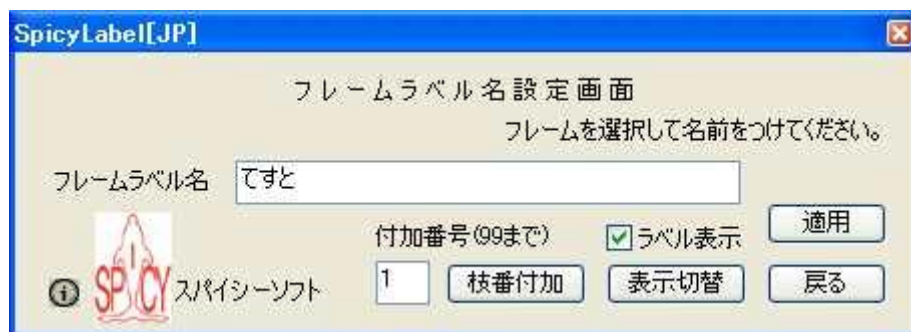


# SpicyLabel 操作説明書

SpicyLabel Ver4.0/Ver5.0 共通



有限会社スパイシーソフト

## 1. はじめに

SpicyLabel(本製品)は、DTP ソフト Windows 版 Adobe InDesignCS 日本語版対応のプラグインソフトで、32ビットで稼働するInDesignを対象としています。

本製品は、ドキュメントページに配置されたテキストフレームなどのページオブジェクトに、可視的に名前を付加していくことを実現するものです。

InDesign では、多くの内部メソッドが公開され、JavaScript や VBScript などの多様なスクリプト言語で InDesign の機能を使用することができます。

ところが、スクリプトを組んでいく場合、InDesign ドキュメントのどのオブジェクトに対して処理をしていくのかということが大きな問題になります。

このとき、オブジェクトを識別するのに利用できそうなものは、XML 構造名とスクリプトラベルの2つの方法が提供されています。

XML 構造名は、オブジェクトに名前を付けた時、当該名を表示したり非表示にしたりすることができるので、一見簡単に使用できそうなのですが、XML 構造やオブジェクトの属性の値へのアクセスの方法など、使いにくい一面が見受けられます。

単純に、オブジェクトを識別し、スクリプトからアクセスするには、スクリプトラベルの方が使いやすく出来ています。ところが、このスクリプトラベルの最大の欠点は、オブジェクトに付けた名称が、オブジェクト自体に表示されないので、一々、スクリプトラベルパネルを開けておき、対象となるオブジェクトを選択しないとわからないということが言えます。

本製品は、この点を解消し、オブジェクト自体に装飾として付加した名称を表示できると同時に、スクリプトラベルとして同じ名称を登録するということを実現しています。

Adobe 社も推薦しておりますように、スクリプトでの InDesign の制御をおこなうということは、今後も増加していくものであり、このことを考えると、どうしても、このオブジェクトを特定するという作業が切り離せないものとなります。したがって、オブジェクトを識別する名称づけを可視的に行えるということは、スクリプト開発を行うに際して、作業効率の大幅な改善をもたらすものではないかと考えております。

本製品は、弊社の販売する定型レイアウト自動組版プログラム「SpicyLibraCS Ver2.0 もしくは Ver3.0」に搭載されている機能を単独線品としたものです。

InDesign のバージョンにより、適切な SpicyLabel プラグインをお使いください。

## 2. 動作に必要なソフト

InDesignCS2\_J(Ver4.0) → SpicyLabel Ver4.0

あるいは

InDesignCS3\_J(Ver5.0) → SpicyLabel Ver5.0

## 3. インストールとアンインストール

### ① インストール

SpicyLabelV4.zip または SpicyLabelV5.zip を解凍し、その中にあります、「Spicy フォルダー」ごと、InDesign.exe がインストールされているフォルダーにある「Plug-Ins フォルダー」にコピーまたは移動してください。  
「Spicy フォルダー」には、次のプラグインソフトが入っています。

● SpicyLabel.pln

### ② アンインストール

レジストリーなどへの登録は行っておりませんので、「Spicy フォルダー」ごと削除してください。

## 4. 機能

本製品では、次の4種類の機能を実装しています。

① オブジェクトに名前（ラベル名）を付ける。

**ラベル名は5文字以下の制限がございます。**

② オブジェクトのスク립トラベルにラベル名を設定する。

③ ラベル名に1～99までの枝番を付加する。。

④ ラベル名の表示/非表示を切り替える。

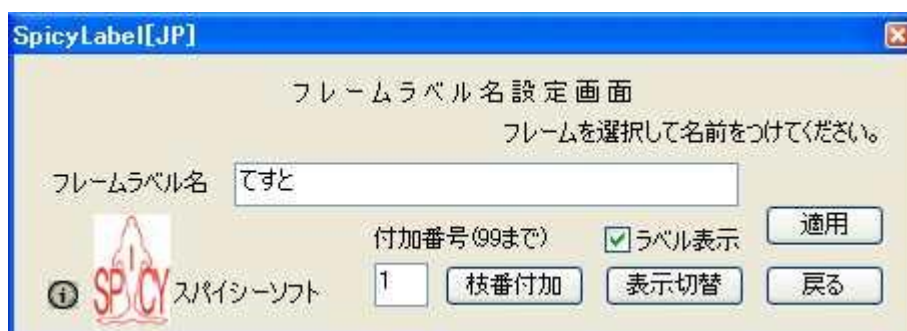
ラベル名は、テンプレートファイル（.indt）、ドキュメントファイル（.indd）のどちらの種類のドキュメントにも、また、ドキュメントページ上及びマスターページ上のいずれのページオブジェクトに対しても設定することが可能です。

## 5. 使用方法

何らかのドキュメントが開かれている状態で、  
InDesign のメニューより、「プラグイン」→「スパイシーソフト」→「SpicyLabel」  
を選択してください。

何らかのドキュメントが開かれていない場合。選択部分がグレーとなり選択できないようになっています。

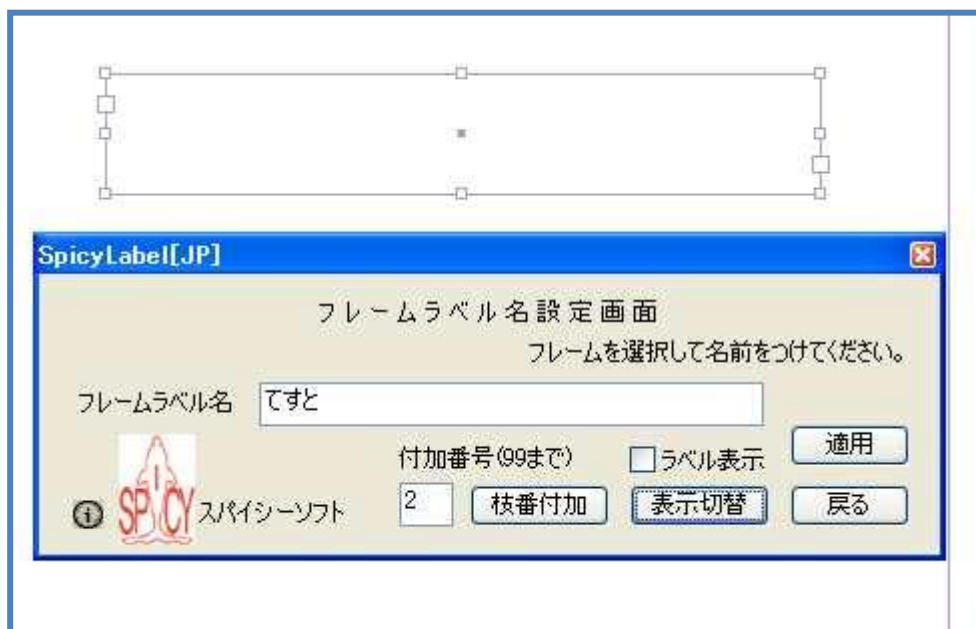
メニューを選択すると、ラベル名を設定するダイアログが表示され、戻るボタンをクリックするまで、表示されたままとなります。



ラベル名設定にかかわるすべてのことは、このダイアログ上で行います。

基本的なラベル名の設定方法は次のような手順となります。

- ① ラベル名を設定するオブジェクトをオブジェクト選択ツールで選択しておく。
- ② ラベル名をラベル名テキストボックスに記入します。



続けて、適用ボタンをクリックすると、テキストボックスに記入したラベル名が、InDesign にて選択されているオブジェクトの外側に表示さ

れます。

このとき、枝番号（半角「-」と数字）は記入しません。

また、適用ボタンをクリックする前に、

- ラベル名表示チェックボックスにチェックが入っていること。
- を確認しておきます。



上図で分かるように、「てすと」というラベル名が、選択状態になっているフレームの下部に、赤色で表示されているのが確認できます。

基本的には、必要なフレームに対して、この操作の繰り返しとなります。

### ③ 枝番号の付加

通常、InDesign で自動処理を考えた場合、1 ページには複数のレコードのデータを配置したい場合が多いものと思われます。

その場合、データレコードの特定の項目は、フレームの位置は変わっても、同じような属性のフレームに流しこみたい場合が多いものです。そのような時に、フレーム名の違いを共通名に番号を加えて個別名にするというが必要になってきます。

SpicyLabel では、枝番号を 1～99 まで、数値テキストボックスで設定し、「枝番付加」ボタンをクリックすることで、枝番号を付けていないラベル名の後ろに、半角のマイナス「-」と半角の数字で構成される枝番号を付けることができるようになっています。



数値テキストボックスに「1」に設定し、「枝番付加」ボタンをクリックした直後のページオブジェクトを見ると、「てすと-1」と表示されているのが分かります。

同時に、数値テキストボックスの値が、次の枝番付加に備えて、自動的にインクリメントされます。

なお、枝番を付加する対象オブジェクトを複数選択しておき、一括して、同一番号の枝番を振ることができます。

ここまでで、個別ラベル名を設定するという、実際のラベル名設定の処理は終わりとなります。

次の項目からは、付属的要素の機能説明を行います。

④ 「ラベル名表示」チェックボックス

このチェックボックスは、ラベル名を画面上に表示するかどうかを切り替えます。

これは、ラベル名が1ページ上に沢山あったり、オブジェクト同士が近い場合に、見にくくなったりする場合にチェックボックスのチェックを外し、「表示切替」ボタンをクリックすることで、非表示にすることができます。

逆に、非表示になっている場合には、チェックをして、「表示切替」ボタンをクリックすれば、表示状態に切り換えることができます。



上の図は、非表示に切り換えた時の状態を表しています。

6. 評価モードでの制限

ご購入いただき、ライセンスキーを登録していただくまでは、評価モードとして稼働します。

評価モードでは、

- 枝番の付加。

の機能はオフ（使用できない）になっております。

7. ライセンスキーのご購入とライセンスキーの登録

本製品を評価をしていただきましたのち、ご購入される場合、添付の購入申込書に必要事項を記入のうえ、ご購入代金を指定の銀行口座にお振込後、購入申込書を FAX またはメールにて弊社までお送りください。

弊社よりライセンスキーファイルが送付されますので、ライセンスキーファイルを本製品がインストールされているフォルダーに保存してください。

8. その他

- ① 「表示切替」ボタンをクリックした場合、一度では、設定した数値が正しくドキュメントに反映されない場合があります。そのような時には、申し訳ございませんが、設定が反映されるまで、再度クリックしてご使用ください。
- ② 本製品は、弊社販売の SpicyLibraCS に付随する SpicyLibra1.pln と同一のため、同時にプラグインとして使うことはできませんので、どちらかをご利用ください。

以上

2009 年 2 月 24 日

有限会社スパイシーソフト

〒140-0013 東京都品川区南大井 6-20-9

グリュック南大井 602

HP: <http://www.spicy-inc.jp>

Email: [info@spicy-inc.jp](mailto:info@spicy-inc.jp)

Tel: 03-5471-4161

Fax: 03-5471-4161